

BSOの 情報てんこもり

2025年04月17日号

制作・発行：(株)BSO 支援企画部

TEL：(06)6351-5836

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆BSOの西山代表が生成AIを相手に「現代を生きる」に挑戦します

農業革命、産業革命、情報革命を経て、現代は社会革命のただ中にあり、構造的な変化は進化と拡大の中で加速しています。そのような状況下で、一人で思い悩んでも、何も前には進みません。今こそデジタルパワーとアナログパワーを適切に使いながら、生成AIをパートナーとして活かしていく必要があります。

今回は、ChatGPTに「民主主義的自責のふるまい」についての標語カレンダーを作って貰いました。参考に出来るので紹介することにします。

《民主主義的自責のふるまい標語カレンダー／ChatGPT》

※民主主義的自責のふるまい・・・自分の立場・行動・判断に責任を持ち、自己反省を通じて社会に関わる態度や行動

- 1日：挨拶は、空気をつくる一番やさしい方法。
- 2日：忙しさの中でも、「ありがとう」は忘れずに。
- 3日：わからないときは、「教えてください」が強さになる。
- 4日：相手の立場に1歩、心を置いてみる。
- 5日：小さな報告・相談が、信頼のタネになる。
- 6日：「お先に失礼します」は、働き方のリズムを守る合言葉。
- 7日：伝え方ひとつで、空気も成果も変わる。
- 8日：「余裕のない人」には、少し余白で返す。
- 9日：苦手な人こそ、「どう関われるか」を考えてみる。
- 10日：一歩引く勇気が、チームの前進を生むこともある。
- 11日：間違いは、責めるより、学び直すチャンス。
- 12日：相手を否定せずに、自分の意見を伝えてみる。
- 13日：ユーモアと余白が、チームの余裕をつくる。
- 14日：「そういう考えもあるんだね」から、対話が始まる。
- 15日：言いにくいことも、伝えることで前に進む。

- 16日：メール一通に、ちょっとした気遣いを添える日。
- 17日：イライラする前に、「何を求めていたか」に気づいてみる。
- 18日：役職よりも、「人として」どう向き合うかを大切に。
- 19日：自分のミスは、次に活かせる資源にする。
- 20日：相手の“成果の裏側”にも目を向けよう。
- 21日：疑問は、共有してこそ活きる。
- 22日：「なんとなくモヤモヤ」を、言葉にする練習。
- 23日：忙しいときこそ、丁寧さが価値になる。
- 24日：違いを否定せず、活かすには“まず聞く”。
- 25日：今日は「感謝を1つ、言葉にする日」。
- 26日：「前からそうだった」ではなく「今からどうする？」
- 27日：雑談は、職場の人間関係のビタミン。
- 28日：伝えるときは、「事実」と「気持ち」を分けて。
- 29日：ちょっと手伝う、その一歩が信頼を育てる。
- 30日：この1ヶ月、あなたが居てくれて助かった。お疲れさま！

◆BSO、ISP（流通企画研究所）だより

◎ベトナム社長会の食品缶詰メーカーから輸出の話が来ています

・ツナ缶を製造し欧米やアジアなど様々な国へ輸出しているベトナム企業です。日本へ輸出をしたい、ツナ以外の食材加工にも取組みたいという要望を持っています。

◎ベトナム高度人財を育成確保する事業に参加しませんか

・現地の大学や教育機関と連携を取り人財確保に取り組んでいます。

◎中核人財や次世代幹部を育成する「霧研」がスタートします

・4/23（木）から2025年度霧研がスタートします。開催は高松です。

◎5月の西山経営革新塾（客員研究員会議と合同／大阪開催）は参加費無料です

・5/21（水）15：00～ただし事前予約が必要です。参加ご希望の方はご連絡ください。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）

